

沖縄戦について学んだことから考えた

2019年2月

(1) 沖縄戦があったことや、ひめゆり学徒の隊の存在は知っていたが、あんなにも悲惨な話があることは知らなかった。私は4年生の頃、沖縄に行ったことがあるが、あのきれいな海で美しい島で大勢の罪のない大人、子ども、老人、赤ちゃんが殺されたことが本当に悲しい。いまは辺野古の基地建設問題が毎日のようにニュースで取り上げられているが、二度と同じ過ちを繰り返さないよう、二度とあの美しい海が汚れないように、沖縄県民はもちろん、日本全国の人が正しい判断をしてほしいと思った。良光さんは、戦争によるPTSDと闘いながら私たちに伝えていく義務があると思ってくれたことが嬉しい。だから私たちも伝えて考えていく義務があると思った。

(Y1さん)

(2) 沖縄戦の話を聞いていて、いままでも大量の死が生まれてしまった戦争はあったが、今回は良光さんのような戦争の後にPTSDで苦しんだ話を聞いて、改めて戦争は人の人生を狂わせてしまうような物であると思った。しかし、それは米軍からの空襲だけでなく、日本軍の抵抗が終わっていても「最後の兵まで戦え」というような命令や”捨て石作戦”によっても犠牲を生んでしまったと思うので、戦争はやはり繰り返してはいけない無駄な犠牲を生むものだと思った。(I君)

(3) 自分自身は本土の人間で、戦争について調べたり学んだりするとなっても、東京大空襲や原爆などの本土の出来事ばかりになってしまっていて、あまり沖縄戦には触れて来ていなかった。そんな中、陸軍中野学校や『つるちゃん』の話を通して沖縄をはじめとする南西諸島での戦いの様子が想像できた。当たり前なことではあるが、家族などの大切な人を目の前で失ったことに対するショックは大きいものだと感じた。「4人に1人」など具体的な数字を聞いて、身の周りの人たちで当てはめると、より一層、その人たちの苦しみ、辛さを感じる事が出来た気がする。戦争経験者が減っていく中で、本人の口から当時の話を聞くことは難しくなっていくが、たくさんさんの情報から想像していくことも大切だと思った。(Y2さん)

(4) 沖縄戦は、今まで「ある」とだけは知っていた。日本軍と米軍がし烈な地上戦を繰り広げたと、小学校では習った。でも、「誰が」「なぜ」「どうした」のかをほとんど知らなかった。沖縄戦の中身を知らなかったから「戦争は良くない」と思っていただけで、それ以上深く考えてこなかった。だが、ゆっくり沖縄戦を詳しく学んでいくうちに、どれだけ残酷で悲惨なものだったのか、なぜ、そこまで「基地反対」を掲げて闘うのか、根底から理解できたと思う。毎授業気が重くなってしまうけど、それ以上の学ぶ価値を感じられた。(Y3君)

(5) 戦争とは何なのかと思った。日本軍の所へ向かった者は亡くなり、勇気をもって米兵の所へ向かった者は生き残った。空襲やらなにやらしてくる外国も怖いですが、日本も兵力を持ち、その力を過信して国内でも破壊を繰り返す。日本兵すら味方でないと知った時の人々の絶望は、計り知れない。もしかしたら絶望にくれる感情すらまひしていたかもしれない。人と人が己の刃を交らせて、その鋭い切っ先が、戦争責任者ではなく民衆に向く。彼らを捨て石にする。あまりにもむごいと思った。今の世の中は、これをきちんと理解して再発に努めているのか。そう考えた時に、米国や中国の経済制裁はロシアや北朝鮮のミサイル開発はいったい何なのか。あまりにも歴史を軽んじている。日本から、人々の力で変えていきたい。(Y4さん)

(6) 僕は「沖縄スパイ戦史」を観たこともあり、護郷隊の人々の話を聞くだけで辛い気持ちになります。映画では、授業でもやった義一さんなど若い子どもたちが戦わされ死んでいくところを見て、とても悲しかったです。山下虎雄という人について島の人々をマラリアの地獄に閉じ込めたり、物資を取るために人々をだましたりして、このようなことが人間の裏にあるものなんだな、と思いました。この島だけではなく、他の多くの島にも陸軍中野学校出身の人が送られていると映画でも観たので、それぞれの島でも島民が苦しまされていると考え、とても悲しくなります。負の歴史となるこのような戦争は、特に国民、この場合は島民を守るべきであるのに島民をだまし、若い子どもに戦わせ、無駄に命を失っている、このようなことは、これから絶対に起こしてはいけないなと思いました。(M君)

(7) 私は沖縄戦の授業を受け、たくさんの方が死や大きな不安に追われながら過ごしていた事実を知りました。私はその中でも特に「教育の力」の影響に驚き、恐怖を覚えました。本来、教育というのは人が立派に成長するためにあるものだと思います。だから、今回の授業を受ける前までは、教育を行うことはとても良いことだと思っていました。しかし、授業で私は、戦時中に軍部が国民に間違った教育をしたせいで、多くの命が失われたことを知り、教育は少しでも正しい道から踏みはずすと、重大な悲劇を招いてしまうのかと衝撃を受けました。このことを受け、教育は慎重に行わなければならないと改めて感じました。今後は、物事を適切に見極め、判断できる人になりたいと強く思います。(Tさん)